

補足	メール処理
<p>①【action①】 案件の自動リスト化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1. 読取対象のメール(送信元)の追加 キーとなるアドレスと抽出情報への属性付与とパターン化 例 order@y架電ahoo.com + A列=品名,D=列価格,C列=商品CD と手動で定義=パターンβ とする &lt;パターンβ に設定する情報&gt;</li> <li>・パターン完成後は自動で上記を実行</li> <li>・リストに自動反映</li> <li>・商品番号の前半13桁又は10桁を抜取。 スクレイピングする商品別のURLを作成(追加可能)</li> </ul> <p>②【action②】スクレイピング</p> <p>1. スクレイピング対象の追加</p> <p>キーとなるアドレスと属性付与とパターン化</p> <p>例 http://www.yahoo.com + A列品名,D列価格,C列商品CD =パターンAとする</p> <p>2. スクレイピング結果の加工</p> <p>&lt;パターン(仕入先)ごとに設定する情報&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パターン属性(ECか店頭か)</li> <li>・スクレイピング順番(同時なら不要)</li> <li>・サイト別の在庫表記の処理方針とそのパターン化</li> </ul>	<pre> graph TD     A[メール受信] --&gt; B{【自動】 案件のリスト化}     C[【事前設定】 コントロールパネル 【リスト化の設定】] --&gt; B     B --&gt; D{【自動】 処理台帳に反映}     D --&gt; E[ ]   </pre>

例:取り寄せ可:在庫有りと見なさない。

在庫○:在庫有りと見なす。

- ・注文保留上限額設定
- ・ログイン情報設定
- ・サイト別発注優先順位
- ・店頭店舗別優先順位

③

【action③】各パターン別設定による振分処理

【action④】ログイン・自動仕入れ

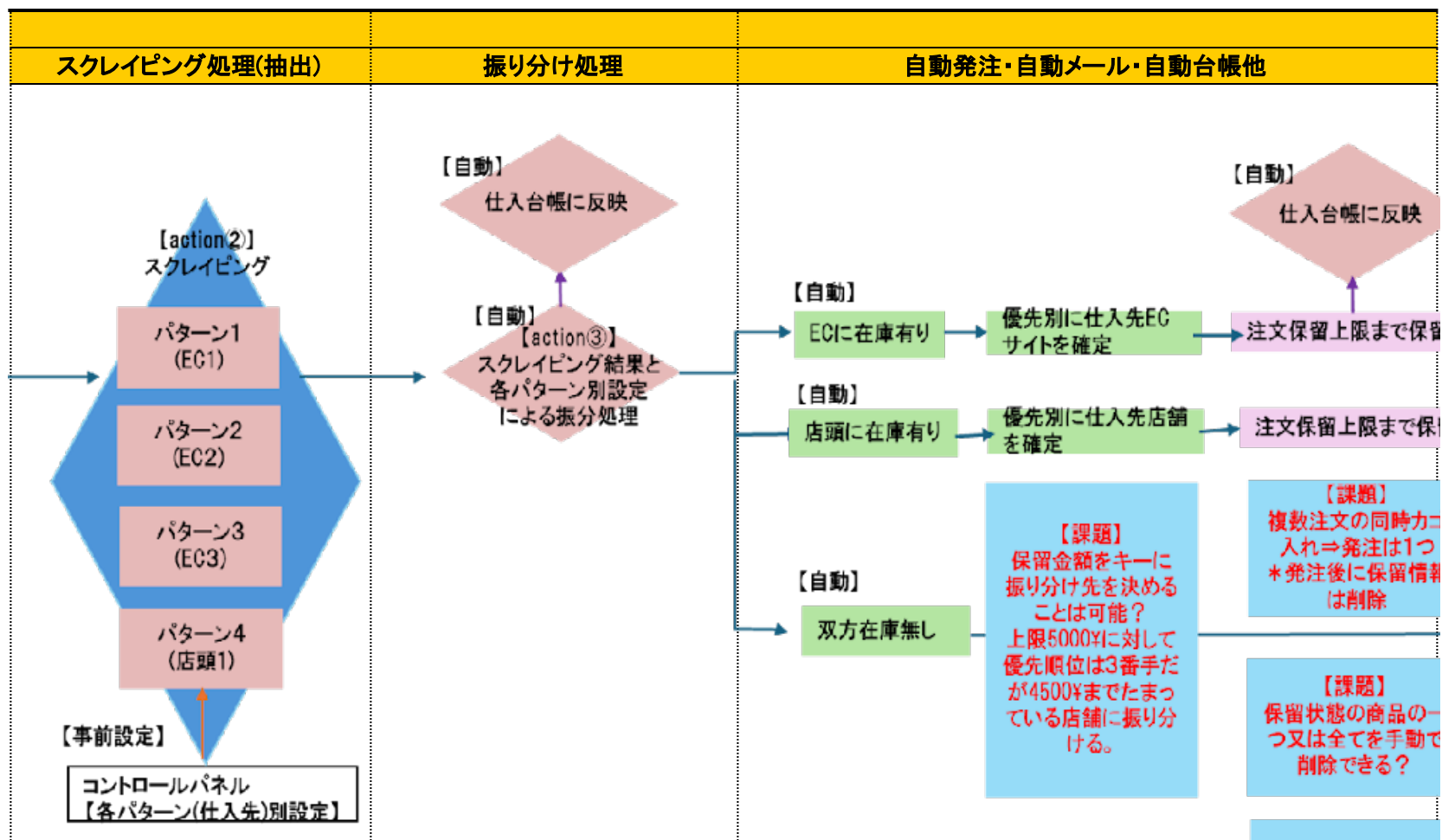
【action⑤】台帳化(店頭へ電話)

【action⑥】

店頭発注メール送信

【操作】

- ・保留案件の手動削除
- ・コントロールパネルによる各種設定
  - \* 設定反映の効果はいつ？
- ・送信フォームの改廃



【課題】  
仕様変更等で抽出  
できなかった  
パターンの扱い

【統計表示】

- ・スクレイピング前の案件数/エラー数
- ・スクレイピング後の案件数/エラー数
- ・ECライト/店頭別保留の件数・総額・最長保留期間
- ・振分け先無(在庫無し)件数

【課題】  
保留状態の間に在庫  
が無くなった場合

